

映画作成

宮西 駿介 田中 翔太郎

1. 研究概要

自作映画を作りたいという気持ちと同時に、どれだけ質の高い映画を作ることができるか挑戦する。

また、映画作成に必要な動画編集ソフトや音声編集ソフトについての知識を深める。

2. 研究の具体的内容

ステップ1 脚本

メモ帳を使って登場人物、大まかな物語、どこで撮影するのかを書いておく。

ステップ2 オーディオ以外の用意決め

カメラは一眼レフカメラとビデオカメラを使って撮影する。

登場人物が着る衣装は家にあった布を縫い合わせて作る。

夜の撮影は真っ暗な中、撮影するので携帯のライトを使う。



図1 作った衣装

ステップ3 撮影

撮影の種類は二つである。

その一つは現場に行き撮影しそのまま使う方法とクロマキーという技術を使って撮影する方法があります。

クロマキーとは、特定の色の成分から映像の一部を透明にし、そこに別の映像や画像を合成する技術である。

もう一つはCM、映画によく使われる撮影方法である。この技術の長所は、撮影が不可能な場所での映像の作成ができることである。

例えば、火山の中や空中での撮影が可能である。

この2種類の撮影方法を使い撮影する。



図2 現場で撮った写真



図3 クロマキーの写真

図4 加工後

ステップ4 動画編集

VideoPad を使う。この完全機能付きのムービー編集ソフトを使って、トランジション、音楽およびナレーションの入った、プロ並みの独自のデジタルビデオを作成することができる。

また、Blender で映画オープニング fox を自分たちでアレンジした。



図5 背景となるもの



図6 背景を切り取ったもの



図7 合成した図



図8 Blender 編集前 図9 Blender 編集後

↑ blender で作ったオープニング ↑

ステップ5 音声編集

WavePad 音声編集ソフトを使う。

音声や音楽の録音や切り貼りなどの基本的な作業は勿論、リバーブやエコー、イコライザなどのエフェクトの追加やノイズの除去など音楽編集に必要な作業を行った。

さらに、マイクを用いて新しい声を追加したりして物語の解説などに用いた。



図9 音声編集

ステップ6 仕上げ

何回も作った映画を見直し映像と音声の整合性がとれているか最終チェックを行った。

3. 研究のまとめ

無料動画編集ソフトや無料音声編集ソフトでB級映画ぐらいにはなりましたが、無料ソフト、体験版での限界を感じた。

A級映画や日常で放送されているテレビなどを狙うためには有料な編集ソフトを買った上、さらなる技術が必要なことがわかった。

また、映画を作るためには多くの機材と多くの人材が必要なことがわかった。

4. 参考資料

<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E3%82%AF%E3%83%AD%E3%83%9E%E3%82%AD%E3%83%BC&oldid=46190720>